

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都中央区東日本橋
3-5-9 市川ビル3階
電話 03-6661-1925

第39回「在京花巻人のつどい」開催の報告とご参加のお礼

在京花巻人会 会長 畠山 真

在京花巻人会は、去る令和七年七月五日(土)に「第三十九回在京花巻人のつどい」を御茶ノ水の東京ガーデンパレスで開催し、多くの参加者をお迎えし盛会のうちに終えることができました。これも一重に日頃からの会員の皆様、関係各位からのご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。お忙しい中ご出席頂いた来賓の皆様、変わらぬ熱意でご出席頂いた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

当日役員は早めに集合し、資料等を準備し皆様のご来場を待ちました。受付で一年ぶりに再会し、笑顔で挨拶を交わされる姿はとても微笑ましい光景でした。

十一時半、司会から会の開始の言葉があり、初めに瀬川前会長の退任の挨拶がありました。マッকারサーの言葉を引用し、「老兵は死なず、ただ消えゆくのみ」という言葉を残され、二十七年間会長を務めあげた味わい深い話をされました。



次に私が就任の挨拶を行いました。主に三点に絞りました。一、自分の履歴、二、「つどい」開催の目的、

三、来年の「第四十回つどい」に向けて、

中でも二つ目の目的は、「広報はなまき」に掲載された、「皆見てる今も昔も同じ月」(堀岡咲紀さん、西南中三年)の川柳を例に、在京花巻人もふるさと花巻の人たちも同じ思いで「月」を見るように「花巻」に思いを寄せて参加し、また欠席された多くの方が健康面で不安を抱え、「一期一会」の会に参加できないつらさをハガキの文面から感じました。

次に私が六年度の活動報告と七年度の事業計画を簡単に述べ、高橋良光副会長より六年度の決算報告と七年度の予算案が提示され、拍手で承認されました。

その後、懇親会に移り上田市長から現在の花巻市の現状とこれからの花

巻市の展望の話がありました。特にクマ出没の話は、直前に北上市の女性の方が亡くなるという痛ましい事件が起こり、花巻市子どもたちをバスで送迎するという大変な状況なのだ改めて思いました。私も百名山に挑戦中、苗場山でクマに遭遇し、危つく難を逃れたという事がありました。

次に藤原市議会議長の挨拶と乾杯のご発声がありました。議長も挨拶を簡潔にまとめて頂き、乾杯では皆様の高らかな声が会場に響き渡りました。その後、すぐに「べんべろの会」の宮沢賢治の「ざしき童子のはなし」の朗読があり、皆さん熱心に聴いていました。続いて歓談に移り毯を回して自己紹介を合いました。

そして、本日のゲストの濱乃志隆(本名・濱崎隆)さんの歌とトークがありました。初めにフルートとオカリナで童謡を演奏し、後半はギターで昭和歌謡を歌い、最後に「北国の春」を皆で歌い盛り上がりしました。しばらく懇談し終わりの方で及川さんと松田さんに

よる相撲甚句の披露があり、二人の息の合った歌声が会場に轟きました。最後に高橋良光副会長の閉会の挨拶でつどいが終了しました。

今年は、司会、席札、自己紹介の手製の毯、全体として手作り感のあるつどいになったと思います。会場を去る方から「来年もまた会いましょう!」という言葉を頂き、令和八年七月四日(土)開催予定の「第四十回在京花巻人のつどい」もしっかりと準備をし、

皆様に満足して頂けるよう楽しい会にしたいと思います。

第39回 在京花巻人のつどい 収支決算報告書

(単位 円)

収入	支出	摘要
517,000		会員参加者51名 (51×9,000=459,000) 夫婦6名3組(3×15,000=45,000) 寄付(13,000)
387,000		来賓参加者43名 (43×9,000=387,000)
300,000		一般会計からの補助
	893,100	ホテルへの支払い
	111,516	お土産、ウェルカムワイン
	94,838	つどい案内、ハガキ、プログラム印刷代 ハガキ返信郵便料、荷物運送、他
	30,000	アトラクション(濱乃志隆による音楽)
	30,000	看板製作費
	7,700	会長交代による感謝の花束
1,204,000	1,167,154	差引残高 36,846

差引残高 36,846円は一般会計に戻し入れました。

令和8年度 「第40回在京花巻人のつどい」 のお知らせ

日時: 令和8年7月4日(土)11:30~14:30
会場: 東京ガーデンパレス
住所: 東京都文京区湯島1-7-5
電話: 03-3813-6211
アクセス: JR御茶ノ水駅 聖橋口

「在京花巻人のつどい」に参加して



花巻市地域振興部
地域づくり課 課長
坊澤 尚行

去る7月5日(土)、東京ガーデンパレスにて開催されました「第39回在京花巻人のつどい」にご招待を賜り厚く御礼申し上げます。

当日は在京花巻人をはじめ、在京石鳥谷人会、在京東和町友会、北上ふるさと会の皆さまを含むおよそ100名の方々がご参加され、総会並びに懇親会が盛大に執り行われました。この場で皆さまの幼少時代や学生の頃の花巻での暮らしや遊びの思い出、上京後のご活躍について拝聴することができ、生まれ育ったふるさと花巻への深い愛情を常に心に抱きながら歩まれてきた先輩方のお話に深い感銘を受けました。多くの方々とも懇親を深める貴重な機会となり心より感謝申し上げます。

なお本総会にて瀬川紘一様が会長を退任されま

お願いし、感謝と敬意を込めて結びの言葉とさせていただきます。



岩手日報社東京支社
営業部長兼大阪支社長
高橋 敬弘

在京花巻人のつどいに参加しまして、遠く離れた土地で過ごす日々の中で、ふとした瞬間に故郷花巻の風景が脳裏に蘇りました。北上川のゆたかりとした流れ、賢治の愛した早池峰山の雄大な姿、そして何より、あの特有の空気感——それらは時間の経過と共に、記憶の中でより鮮明に、より愛おしく輝いていきます。

数年ぶりに帰郷してこない今、花巻の四季の移ろいを遠い場所から想像しています。春には賢治祭で賑わう町並み、夏祭りの提灯が揺れる商店街、秋の黄金色に染まった田園風景、それぞれの季節に刻まれた幼い頃の思い出が、まるで昨日のことのように心に蘇ります。

特に懐かしいのは、母と一緒に歩いた賢治記念館への道のり。道すがら聞いた宮沢賢治の話、二雨

「二毛メケズ」と一緒に暗唱したこと、童話村で見た空の青さ。あの頃は当たり前だと思っていた風景が、今では何にも代えがたい宝物に思えます。

花巻の人々の温かさ、心の奥深くに残っています。地域の祭りでの結束感。都市部では味わえない、人と人との距離の近さがそこにはありました。それは単なる地方の良さではなく、花巻という土地が育んだ独特の人情だったのだと、今になって深く理解しています。

そして何より、賢治が愛したこの土地への誇りです。「イーハトーブ」として描かれた理想郷の原風景が、まさに私たちの故郷にあること。世界に名を知られる詩人・童話作家が生まれ育った場所、私も同じ空気を吸って成長したという事実は、今も心の支えとなつていきます。

時が経つにつれ、故郷への思いは募るばかり。変わらぬ花巻の本質的な美しさ、温かさを信じている。いつの日か必ず帰る故郷として、花巻は私の心の中で永遠に輝き続けています。

北上川の流れのように、ゆたかりと、しかし確実に前に進む花巻の歩

みを、遠くから見守り続けたい。そして近い将来、再びあの懐かしい風景の中に身を置き、故郷の空気を胸いっぱい吸い込む日を心待ちにしています。



副会長 多田 善利

皆様、「集い」では大変お世話になりました。私は、大迫人会からの途中編入のため、「集い」への参加は4回目でしたが、理事就任3年目という若輩者であり、集いのマネージャー役として種々不手際がありましたことを、この場をお借りしてお詫びしたいと思

います。本年は、会長以下役員が全面的に改選されたのですが、集いを始めたの

です。私がまず困ったのは、パソコンです。総括担当の仕事は、集いのシ

ナリオや司会の読上げ原

稿作成等多岐に亘り、文書にしないと始まりません。定年退職して10数年振りに入社したパソコンは、思い通りに動いてはくれず、今年の上半期は、文書作成に翻弄されました。

今回の「集い」では、新旧会長の交代に伴うレモニーに始まり、総会での議案審議、そしてアトラクションへと続きま

す。べんべろの会有志による賢治作品の「ざしきぼつこのはなし」の朗読は、花巻人の心の中に残るノスタルジーを想起させてくれました。そして

は、テール毎にお互いの身上等を紹介し合い、短いながらも親交を深めることが出来ました。懇親会では、濱乃志隆さんの流麗なトークに導かれ

ながら、ギター・オカリナ演奏と共に昔懐かしい昭和歌謡を聴くことが出来ました。終盤では、恒例の「精神歌」の斉唱、小原紘一さんを偲びお仲間による相撲甚句披露など、和気藹藹の中でフィナーレを迎えられました。多くの会員様に盛り上げて頂き、本当に有難うございました。

来年も趣向を凝らし、より楽しい集いを目指しますので、是非ご来場ください。

「第39回在京花巻人のつどい」



会員の活動報告コーナー

「第二十九回歩こう会」開催
「生麦事件の足跡をたどる」
「国道駅から生麦事件の碑まで」

会長 畠山 真

令和七年五月三十一日
(土)に第二十九回花巻人会交流会の歩こう会を実施しました。

朝から雨模様と風の強い中にも関わらず、十三名の方が参加しました。国道駅で九時半に待ち合わせをし、生麦に在住の地元の遠藤さんに案内役を務めてもらいました。昭和五年に開業し九十五年の歴史を持ち、横浜では珍しい無人駅の国道駅から歩き始めました。燕が盛んに飛び回り、我々を見送ってくれました。

まず初めに魚河岸通りを歩き、近くの慶岸寺に寄りました。ここには、新しく作られた七福神の石像が置かれ、美しい境内には紫陽花も咲き始めていました。魚河岸通りに戻り、今度は私の知人の巴さんの店に寄り、天然のマグロと養殖のマグロを一切れずつご馳走になりました。これがまたとても美味しくビールを飲みたい気分になりました。さらに高橋海苔店に

寄り、この店で焼いているという海苔を購入して先に進みました。

魚屋の角を曲がり鶴見川に出て、貝殻浜公園に行きました。ここは、昔は貝殻の捨て場所でしたが、現在は家が建ち、船上で生活している人もいます。

次に海の安全を守るために建てられたという水天宮に寄り、正泉寺に行きました。ここは、明治六年に建てられ生麦学舎と言った生麦の寺子屋があった場所です。そこから、道念稲荷に行きました。道念稲荷は、翌日の「蛇も蚊もまつり」の準備がされ、案内役の遠藤さんの紹介で保存会の方が神社の中を開けて三体の蛇を見せてくれました。

さらに歩いて行くと、生麦事件発生現場に着きました。ここには立て看板があり、一八六二年八月二十一日に発生し、リチャードソン以下四名のイギリス人がここで薩摩藩士から切り付けられたという看板がありました。そこで少々説明を加え、近くにある生麦小学校に行きました。ここに、今時珍しい二宮金次

郎の石像が残っていました。ちなみに生麦小学校の校歌は、童謡「たき火」で有名な紫波町生まれの巽聖歌の作詞です。そこから、また魚河岸通りに戻り神明神社に行き、最後の目的地、「生麦事件の碑」に向かいました。

ここは、リチャードソンがとどめを刺された場所、ほかの三人は傷を負いながらも居住地に逃げ帰り助けを求めました。この事件から翌年薩英戦争が起こり徳川幕府が衰退し明治維新へと変遷を遂げていきます。今回生麦を実際に歩き、生麦事件についてさらに知ることができました。



浅草千束で
「花巻の物産展」を
開催

会長 畠山 真

令和七年六月七日(土)、浅草の千束通り商店街の途中にある交流館の花巻物産展に行ってきました。

浅草で電車を降り、まず浅草寺の手前にある雷門に行きました。外国人の観光客も数多くいて、人力車の方が人待ちをしていました。浅草寺の裏手にある花やしきの横を通って行くと東洋館がありました。ここは以前フランス座と言った芸場でした。渥美清や萩本欽一、岩手ゆかりの井上ひさしの写真も飾ってありました。

そこからアーケードを通り抜け千束通り商店街に行きました。通りの中ほどにこじんまりとした店があり、そこが交流館で花巻物産展をやっていました。お店の前で花巻観光協会のはつぴを着た女性の方が、熱心に通りを歩く人たちに声をかけていました。私も店の中を見て回り、様々な花巻の物産が展示してありました。大好きな早池峰の飲むヨーグルトと白金豚のサラミ、お新香などを買って帰りました。

帰りは、外国人でごった返すかつば橋道具街を見て上野から帰りました。商店街のすきまからスカイツリーも見えて、ちよつとした浅草散歩になりました。やはり、浅草は観光客がとて多く東京の名所なのだと改めて思いました。



第51回岩手県人連合会
「総会県人の集い」
開催さる

去る6月8日(日)、上野の東天紅において、第51回の県連の「総会と県人の集い」が開催され、在京花巻人会から畠山会長以下7名の役員、石鳥谷と東和のふるさと会から4名の役員、在京花巻ふるさと会としては11名が参加しました。又、瀬川前会長は3月で県連の副会長を退任、今回は名誉会員として出席しました。

11時に始まった総会では、まず白土会長から挨拶があり、曾部事務局長から活動報告・計画、決算・予算など会務の報告が行われ、滞りなく終了。12時20分頃から始まった懇親会では、八重樫幸治副知事と工藤大輔県議会議員より来賓の挨拶、階級衆議院議員が乾杯の発声を行い、懇親会がスタートしました。冒頭、出席者から大船渡森林火災の義援金が集められ、県連からの見舞金と合わせて大船渡市に贈られるとのこと、贈呈式と藤枝修大船渡市副市長からお礼と復興状況の報告がありました。



アトラクションは、大江戸さんさ、そしてクラシックを中心に幅広いジャンルの歌唱で人気の柴田泰孝さんのミニコンサート。盛り上がった会は15時まで続き、県内の各加盟団体の役員の間で大いに懇親が深められました。(編集部)

《はなまき あれこれ》

新花巻図書館整備基本計画の概要

去る5月19日開催の教育委員会議定例会で、JR花巻駅前を建設候補地とした「新花巻図書館整備基本計画」が承認され、6月10日には市議会定例会で設計業務などに係る補正予算が議定され、市はいよいよ新図書館建設に向かって動き出しました。

会報でも昨年10月号で基本計画の概要を、今年1月号では建設予定地がJR花巻駅前に決まった事を伝えました。今回は計画のポイントをいくつか紹介しますが、基本計画は市のホームページに掲載されていますので、詳しくそちらをご覧ください。

新花巻図書館の施設は、延べ床面積は4500平方メートルほど、「ユニバーサルデザイン」とし、様々

な人の利用しやすさを目指します。蔵書は当初は28万冊程度ですが、70万冊の収蔵スペースを確保します。サービスの目標は、多様化するニーズに応じて多くの人に使用して頂けることを目標とします。また、宮沢賢治専用スペースを設けるなど、賢治の出身地ならではの図書館を目指します。なお、開館時間は9:30～19:00(学習スペースは9:00～21:00)、休館は週1回と年末年始、貸出点数・期間は全部で15点以内・3週間となっています。

市は令和12年度の開館を予定しています。

(広報はなまき5/1・7/1号より)

花巻市のツキノワグマの出没と対策

今年度に入ってから、花巻市内でのツキノワグマの目撃が多数報告されていますが、特に7月には隣接する北上市で家にクマが侵入し住人が殺害される事件が発生し、緊張感が高まっています。「つどい」での上田市長の挨拶でも、太田村だけで37頭のクマの生息が確認されたとの報告がありました。花巻市では様々なクマ対策を講じておりその一端を紹介します。

市では、昨年度から山から市街地への侵入経路と考えられる場所にAI(人工知能)カメラを設置、市街地に侵入した場合の早期発見・追い払いが出来るよう警戒態勢の強化を図っています。また、クマの移動経路と思われる河川敷ややぶなどの草刈りも行っています。

子供たちの安全対策としては、保護者への送迎の

お願い、送迎が難しい家庭については市の費用でタクシーや貸し切りバスによる送迎を行っています。また、市内すべての小中学生が「クマよけベル」を身に付けられるように、新小学1年生にも配布しています。

その他、市では令和3年度から「有害鳥獣対策アドバイザー」を採用、クマの誘因物となる木の伐採、電気柵の購入などが必要な市民のために補助金を出しています。

(広報はなまき5/1号他より)



市内に設置したAIカメラが捉えたクマ

花巻東の甲子園大会での活躍

花巻東高校は、第107回全国高校野球選手権岩手大会を県初の3連覇、通算で13回目かつ春夏連続では3回目の甲子園出場を果たしました。

花巻東の甲子園での1回戦は、大会4日目の8月8日(金)に智辯和歌山と対戦。春の選抜準優勝の同校に対して全く臆することなく戦い、初回到1失点もその裏に2点返して逆転、5回と6回到1点を追加し、万谷投手が1失点で完投して快勝しました。

2回戦は8月16日(金)に東洋大姫路と対戦しました。先発の万谷投手は、強豪校相手に慎重になり過ぎたのか四球が多く、野手のエラーも重なって5回返に4失点。6回には金野投手が登板しましたが、この回だけで3失点。しかし、7回到花巻東は1点を返

し、さらに8回には3点返し意地を見せました。ただ、続いて登板した赤間投手も1失点、結局8対4で2回戦敗退となりました。投手力が課題となりましたが、前半に不運な失点がなければ勝機もあった試合で、実力差は点差ほどは無いと感じました。

今回活躍した4番古城、5番赤間、6番万谷投手もまだ2年生、来年に期待したいと思います。

(テレビと朝日新聞から)



萬谷 堅心

MLBオールスターで雄星と大谷3年ぶりの揃い踏み

今年のMLBオールスターゲームは、現地時間7月15日ジョージア州アトランタのトゥルイストパークで開催されました。ドジャースの大谷翔平が5年連続5回目の出場、エンジェルス菊池雄星が3年ぶり2回目の出場で、花巻東校出身選手二人の3年ぶりの揃い踏みとなりました。

ドジャースの山本由伸投手も選出されましたが、菊池雄星投手と同じくオールスター前のゲームに登板したので今回は出番はなし、大谷選手がナ・リーグのDHスタメン1番で登場しました。大谷選手は、1回裏にトップバッターでセンター前ヒットを放ち、

2打席目は1塁ゴロ、2打数1安打で終えましたが、山本選手と雄星選手もベンチで球宴を楽しんでいます。

今年のオールスターの話題は「ロボット審判」の登場、実際に打者と捕手から機械判定が要求され判定が覆りました。なお、試合は9回を終わって6対6の同点、両チーム3名による3スイングでのホームラン競争で決着するルールが適用され、ナ・リーグがフィリスのシュワバーによる3スイング3ホームランの活躍で勝利しました。

(NHKBS放送、ヤフーなどから)



「真臣乳と亮次郎」

(第3回) 瀬川 紘

②花巻の歴史に見る
「開明的精神性」の
三つの背景

花巻地方では、長い歴史を通じて様々な血統のハイブリット化が行われて来ました。まず日本人の核DNAの12%は縄文人から伝わったと言われていいますので、花巻人のベースとなる血も縄文人のものでしょう。さらに、弥生時代には北東アジアからの、古墳時代には東アジアからの渡来人の血が入り、そして出雲以北の裏日本からの移住者と言われる蝦夷の血が入ります。その後は、その蝦夷と戦って土着した坂上



在米中の淵澤能恵

領職となりますが、その係累や家臣が有力な配下の豪主となります。稗貫氏配下の構成は、多くの戦国大名のピラミッド型とは全く異なり、

田村麻呂の従者たち、頼朝の東征で花巻地方に土地を拝領し移住した関東武士たち、奥羽仕置きで花巻に残った浅野家の家来たち、そして江戸時代の花巻開町後には近江や京都の商人たちの血が入ります。これだけ多様な血が花巻人に入っていることを考えると、この血統のハイブリット化も賢明で進取的な人材を育む原因となったのではないかと推測したくなりま

す。

次に注目するのが、稗貫氏の時代です。66郷とも52郷とも言われた稗貫地方は常陸系稗貫氏が総

各豪主が比較的平等な人間集団で揆(心を一つに)的だったと伝えられています。有力な豪主には、似内、大迫、小山田、八(矢)沢、亀ヶ森、八重幡、新堀、12丁目等の各氏があり、郡内各村では地名を名乗る配下は50家以上を数えます(「稗貫氏探訪」より)。大迫氏が主家の稗貫氏に謀反し大敗させたとの史実もあり、豪主や家臣たちは権力におもねることなく、昂然たる気概を持つて中世の約300余年を生き抜いたものと思われま

す。奥羽仕置き後、家臣の一部は南部藩の家臣となりますが、多くは花巻地方で町方や農民となりました。ここにも、花巻地方に自主的で先進的な風土を育む背景があったように思います。又、江戸時代後期に花巻地方で百姓一揆が頻発しますが、一揆のリーダーである義民を数多く輩出したのもここに要因があったと推測されます。

三つ目は、花巻開町に取り組んだ北松斎(信愛)公(1523～1613)の存在です。花巻

城時代北信愛は武に優れていると同時に、極めて開明的な人物でした。花巻開町にあたっては、戦乱が治まり国情が落ち着くとの卓見から、まず稗貫氏の家臣を召し抱えて過去にとわれない人材活用を行い、防御上開発が遅れていた花巻城南側を北上川の川口を利用して里川口として開町、南方への物資交送を図ります。又、当時学問と伝教の機関であった寺院を花巻三町に集めたのも文化水準を高める施策でした。(及川雅義著「花巻の歴史」より)。このように開明的なリーダーによってスタートした花巻の江戸時代は、中期に新田開発や商業の隆盛などもあり、経済的にも文化的にも大変豊かになりました。このような花巻が、開明的な人材を輩出するようになったのも納得がいくように思います。

③明治時代に現出した開明的人物の系譜

明治時代には花巻から多くの開明的な人物が輩出するのですが、ここでは淵澤能恵と佐藤昌介を取り上げます。

石鳥谷出身の淵澤能恵(1850～1936)は、女性ながら「学問のすすめ」や「西洋事情」を読み大いに啓発され、明治12年メイドとして働いていた釜石の御用鉱山技師G. パーセルが米国に帰国する際に一緒に渡米、サンフランシスコで働きながら英語と家政学を学び3年後に帰国します。明治37年に縁あって朝鮮に渡り、当時の虐げられた朝鮮婦人を見て教育によって救いたいと熱望、多くの困難を乗り越えて56歳で「明新女学校」を創立、以来30年にわたってその発展に貢献します。能恵は朝鮮人を日本人と同等に扱い「内鮮融和の母」と呼ばれました。まさに、「開明的精神性」によって導かれた人生だったと言えるでしょう。

里川口出身の佐藤昌介(1856～1939)も開明的人物の系譜に繋がります。佐藤は、新渡戸稲造が幼少の頃に見習えと教えられた先輩、藩校作人館に学び明治5年16歳の時に勉学のため上京します。経済的に困窮す

るなか東京英語学校に入學、その後クラーク博士の勧誘を受け明治9年札幌農学校の第一期生として入学します。卒業後自費で米国に留学、ジョンズ・ホプキンス大学で農学と哲学を学びます。帰国後は札幌農学校の教授となり帝国大学に昇格させるために献身的に尽力、明治40年札幌農学校は北海道帝国大学となり初代の総長に就任します。

新渡戸稲造は佐藤昌介を見習うように、札幌農学校の第二期生として入学し、その後は開明的精神性の系譜を受け継いで活躍します。照井亮次郎の生家は新渡戸稲造の実家に近く、亮次郎も稲造を同郷の見習うべき先輩と見ていたと思われるが、後に開明的精神を発揮しこの系譜に繋がることとなります。

4 照井真臣乳の事績を辿る

(1)内村鑑三との邂逅と

「回心」

明治34年(1901)12月27日、照井真臣乳は



照井真臣乳 (大正10年)
(内村先生の愛用の礼服を着て)

盛岡駅前の旅館清風館で初めて内村鑑三に出会います。その時真臣乳は28歳、鑑三は41歳、斎藤宗次郎が真臣乳他2名を帯同して札幌伝道の帰途にあつた内村鑑三に面会したのです。その時真臣乳が何を感じたのか、残念ながら真臣乳は書き残したものが少なく窺い知ることはできません。しかし、その後真臣乳は内村鑑三が主宰する雑誌「聖書之研究」に3度投稿しており、それによってこの邂逅が運命的な出会いだったことが判ります。明治36年7月23日号に載った最初の投稿「余の信仰の経歴」の一部を引用します。

するやこれを大いに歓迎し、全ての陳腐な思想は打破されたり。…余は酒を蒙り不義を敢えてするに至りきも、世に又となき罪の人なるを自覚するに至れり。嗚呼感謝す、余は神を認め天国を希望し純潔たる生涯を送らんことを志すに至れり」(新保祐司著「明治の光・内村鑑三」より)と書いています。維新の申し子である真臣乳が、新しい時代に自分の進むべき道を探しながら、その純粋さや真摯さゆえに内村鑑三の教えに共鳴し、「回心」して「倫理的ピューリタン」となっていく様が見て取れます。

真臣乳は、30年近く花巻里川口尋常小学校の教諭を務め、大正12年南城小学校の校長へ栄転します。昭和5年に引退しますが、一身を教育に捧げます。次男の謹一郎は、その著書「ある日の記憶」で父真臣乳を「清貧に甘んじて暮す一介の小学校教師に過ぎなかつた」と書いています。一介の教師ながらその真臣乳の信仰は70歳の生涯を終えるまで続きます。昭和23年(1948年)、真臣乳は自らの死の三ヶ月前に三男の恵三郎を急病で失つという悲劇に見舞われますが、終生の深い信仰は揺らぐことはありませんでした。

真臣乳は、30年近く花巻里川口尋常小学校の教諭を務め、大正12年南城小学校の校長へ栄転します。昭和5年に引退しますが、一身を教育に捧げます。次男の謹一郎は、その著書「ある日の記憶」で父真臣乳を「清貧に甘んじて暮す一介の小学校教師に過ぎなかつた」と書いています。一介の教師ながらその真臣乳の信仰は70歳の生涯を終えるまで続きます。昭和23年(1948年)、真臣乳は自らの死の三ヶ月前に三男の恵三郎を急病で失つという悲劇に見舞われますが、終生の深い信仰は揺らぐことはありませんでした。

短歌を一首、
祈りては聖書(みふみ)読みては働きて この世のつとめを終えんとす
(2)内村鑑三の信仰
①内村鑑三の転機
寡黙な真臣乳の事績に迫るには、師たる内村鑑三の信仰の軌跡を写し鏡として見ていくことも必要となります。以下にその一部を記します。

真臣乳が内村鑑三と出会った明治34年(1901)は、内村にとつても生涯を二分する年でした。明治14年に札幌農学校を卒業した内村は米国に留学、アマースト大学を卒業し明治21年に帰国します。明治23年に第一高等学校の嘱託教員となりますが、翌年1月教育勅語奉読式で最敬礼しなかつたことが不敬事件となり退任します。その後、各地の学校を転々とする不遇時代を迎えますが、明治30年に内村は徳富蘇峰の助力により萬朝報の英文欄主幹となり、資本主義の不合理性を突き、人道的、倫理的地から日本社会の浄化のために健筆を振ります。しかし、日露戦争に非戦論で臨んだことで社の方針と対立し退社、以後の内村は渡良瀬川鉱毒事件の反対運動を最後に政治、社会に直接関わることを一切止め、明治33年(1901)「聖書之研究」を発刊し文字通り聖書の研究に沈潜していくことになるのです。

その後の内村は、「キリスト教的精神を伴わないデモクラシーの進歩は砂上の楼閣」と指弾、近代日本に欠けているのは「福音による救済」であるとして、以降絶対者キリストとの緊張関係の中で「救済」を求め、「人と我との関係ではなく、神と我との関係で生きる」(新保祐司著「内村鑑三」より)ことを決意します。さらに内村は、第1次大戦後にキリストの再臨運動に取り組み、「国際間の不信義、戦争、人種偏見などは正されるべきであるが、世界は自らを救えない」と主張しますが、その後の歴史を辿れば、まさに「キリスト教の根本原理に立つた予言的洞察」(森有正著「内村鑑三より」)だったように思えます。

②内村鑑三とマックス・ウェーバー
ところで内村は、日本人の長い歴史に育まれた宗教心は明治・大正時代に一時的に失われたと非難し、ヨーロッパについても「西洋文明は世を救うものにあらずして却つて亡ぼすもの、宗教改革のし直しを要求する」と主張します。これは、奇しくもドイツの社会学者マックス・ウェーバーが記した「…宗教改革の精神は死滅してしまつた。」との批判に重なります。マックス・ウェーバーは、内村鑑三より3年遅れて1864年にドイツのエアフルトで生まれています。その存命期間は内村とほぼ同時期です。その著作「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」は、禁欲的職業観念は、やがて自らを律していた宗教改革の精神を失い資本主義に力を貸すことになったと近代社会を批判します。

そしてこのウェーバーの批判は、ヨーロッパ文化の根源たるキリスト教を攻撃したニーチェ(1844-1900)に繋がりますし、さらに遡ると、初めて科学的立場で聖書を批判的に解読した近世オランダの哲学者スピノザ(1632-1677)にも繋がります。西洋の思想と精神は、こうして神の存在とキリスト教をめぐって、近世から現代を通じて人間として社会の在り方を厳しく問い続けています。

洋の東西を問わず、近世から現代まで、人間と社会にとつての「宗教的精神性」が、持続低音の如く、問われ続けているように感じるので。

(続)

「第39回在京花巻人のつどい」アンケートのお礼と報告

花巻市も平成の大合併から数えて来年で20年、「在京花巻人のつどい」も40回を迎えます。

つどいではご参加の皆様全員にアンケート(Q 1～Q21)をお願いしました。回答者は40人と大勢の方からふる里花巻への思い・提案を頂きました。ぜひご覧ください。

Q 1～3は属性。

8人が初参加、32人が複数回参加、19回連続参加が2名、創設された1986年、36人が関東各地に在住、半数が50代を越えてからの入会。

Q4～8はホームページ関連。

6割以上が知っている、活動の中心は「交流」

「歩こう会/新たなスポーツ交流」「つどいでの交流」「ふる里花巻での交流・活性化」。

Q 9～10は関東での「花巻物産展」

平塚市民プラザ、いわて銀河プラザ、イトーヨーカドーアリオ川口店、ふるさと交流ショップ台東、都庁と全ての場所に出かけ購入されていました。

Q11～18は事務所、会報

約7割が事務所を認知、会報も良く読んでいます。

為になる、ふる里花巻の情報を知る唯一の手段、過去と未来を読み解く会報と嬉しい結果でした。

「都内花巻関連飲食店」情報希望があり、まだまだ取材を続けなければと感じました。

Q19～21は役員に対する希望

半分以上が無報酬のボランティア活動を理解

期待・要望として、在京花巻人会の継続、若い方が参加できる環境、入会の施策、活動の明確化、ふる里花巻との交流、発展・活性化があげられました。

最後に、花巻の方言を尋ねたら懐かしいなまりが集まりました。

なんぼおべでらがあ～!?

こっちゃこ～、あべ～、おばんです、おべだふり、おしよす～、んだ、やんか、どでにした、なったき、むじえ、ごんぼほり、わがねじゃー、ままけえ～、うな、きたんちゃ、ねまれ～、ふどる、ではらね、こんびる、まめしく、ありがとうございました。 事務局 梅津 豊

※「都内花巻関連飲食店」情報を事務所の留守番電話、FAX、メールでお待ちしています。

《お知らせ》

東京都庁で「花巻観光物産展」開催

東京都庁第一庁舎1階南側に
ある「全国観光PRコーナー」での
「花巻観光物産展」が今年も開催され
ます。是非お買い物と応援にお立ち
寄り下さい。

日 時：10月22日(水)～28日

(火)～9：30～18：30

(最終日14：00まで)

最寄り駅：都営地下鉄大江戸線

「都庁前駅」で下車、又

は新宿駅西口から都バ

ス「都庁行き」で「第

一庁舎ハス停」で下車。

マルイ北千住で「岩手・花巻 ふるさと納税マルシェ」開催

今年も、ふる里花巻の欲しい商品の
説明を受けながらその場で「ふる
さと納税」が出来るイベントが開催
されます。是非ご参加下さい。

会場：マルイ北千住(北千住駅4

番出口徒歩3分) 2階カレン

ダリウム

期間：11月26日(水)～12月2日(火)

第5回カラオケ会のお知らせ

第5回のカラオケ会を以下の内容で
開催します。奮ってご参加ください。

日 時：令和7年12月13日(土)

14時～

集合場所：JR神田駅南口改札口

13時45分集合

会 費：会場とドリンク代で

2,200円目標。

※昼食、アルコール、

つまみ等は会場1階

のコンビニで購入。

「第30回歩こう会」開催のお知らせ

今回のテーマは「南部藩の江戸屋敷、上屋敷跡から下屋敷跡地までの道
を歩いてみる」、日比谷線広尾駅をスタートし都心を歩いて日比谷公園の市
政会館がゴールです。(約2.5時間)

1、開催日時 2025年10月18日(土) 午後2時集合

2、集合場所 営団地下鉄日比谷線広尾駅 1番出口(地上)

3、連絡先 副会長 梅津 豊 090-6716-99617

申込日(9/30)は過ぎていますが、参加ご希望の方は上記連絡先まで
お申し込み下さい。

新理事紹介… 望月光雄さん

23年間の盛岡単身赴任を終えこの春東京の自宅に戻り
ました。これ迄の長い一重生活によりやりたくても出来
なかったことが沢山ありましたが、今は一つずつ始めて
いるところです。在京花巻人也会も微力ながらお手伝いを
したいと考えていますので、よろしくお願い致します。



△訃報▽ 元在京大迫人会長の内村正明さん ご逝去

元在京大迫人会長の内村正明さんが、5月30日にお亡
くなりになりました。悪性リンパ腫で3月頃から体調を
崩されていました。在京花巻ふるさと会の副会長を務め
て頂いておりましたが、本当に残念です。ご冥福をお祈りいたします。



会費納入のお願いと 納入状況の報告

①令和7年度会費納入のお願いと納入状況

花巻人会は皆様からの会費で「花巻人のつどい」「会報の発行」「会員の親睦交流会」などの活動を行っています。7年度の会費は6月1日(75号)付の会報に同封しました振込用紙(会費3,000円)でお振込み頂きますようお願いいたします。

在京花巻人會会長 畠山真

口座名義 在京花巻人會

口座記号番号 00240-6-11794

金額 3,000円

②7年度の会費納入のお礼と納入状況

今年度の会費納入金額は8月末現在165名、495,000です。会員皆様のご理解ご協力に感謝し御礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光、千葉百合子